

育児サークル ヒアリング結果について(報告)

1. ヒアリング概要

日 時:平成 26 年 3 月 12 日(水) 11:00~11:30

場 所:精華町保健センター

対 象:町内育児サークル 連絡会議参加者 31名

方 法:ヒアリングシート記入の上、意見交換

2. 結果概要

■育児サークルに参加していて、よかったこと

○地域でのつながり作り、情報収集の場

- ・町外から転入してきて不安だったが、子どもも親も友達ができ、地域になじめて心強かった。
- ・幼稚園の情報や地域の情報など、子育てに限らず、さまざまな情報交換ができる。
- ・子どもにとって信頼できる大人が増えた。地域で子どもを見守り、成長を喜んでもらえること。
- ・サークル卒業後も続く、つながりを作ることができた。

○親子で完結せず、外の世界にふれるきっかけになった

- ・育児中の悩み相談や、リフレッシュができた。家にこもらず、外に出るきっかけになった。
- ・子どもが社会性を学び、人見知りが減ってきたように思う。
- ・家ではできない遊びもできて、子どもがとても楽しそうにしている。

■育児サークルに参加していて、困ったこと(個人)

○家事・育児等との両立に伴う負担感も

- ・上の子の幼稚園のお迎えと、活動時間が重なってしまう。
- ・活動時間が決まっているため、子どもの昼寝やおやつの時間がとれない。
- ・メンバーが少なく、役員がまわってくるのが負担で、サークルに参加しにくい雰囲気がある。
- ・サークルの役員がまわってくるが、子どもや自分の体調不良で突然欠席し、メンバーに迷惑をかけてしまうことがある。
- ・自治会との連携もしているため、自治会の会合への出席もあり、負担になる。

■育児サークルの運営において、サークルが抱える課題・困りごと

○子どもと参加メンバーの減少

- ・未就園児が少ない。だんだん小さい子が減っていると感じる。
- ・子どもの減少や共働き世帯の増加で保育所に通う子どもが増えたことによって、サークルの参加対

象者自体が少なくなっている。参加者が少ないと、イベントも企画しにくい。

- ・子どもが少なくなっているが、いないわけではないので、その親子たちの地域のつながりをサポートしてあげたい。
- ・育児サークルを必要としない人、サークルに所属するのが面倒だと感じる人が増えた。自治会の援助も得にくい。

○役員等の負担が大きい

- ・小さな子どもをかかえる中、サークル活動の準備をするのが大変なことも多い。サークルの所属人数が少ないので、1人1人の負担も増加。
- ・どうしても代表者の負担が増えてしまって大変だが、経験してみないと、サークル運営について理解してもらえない。
- ・企画内容を考えることや、参加人数を確保することが難しい。
- ・参加者の年齢や人によって、どのような内容の事業をすべきか迷うことがある。
- ・子どもの対象年齢が0～3歳と幅があるので、活動を考えるのが難しい。
- ・2人目以上のママたちにとっては、内容がマンネリ化してしまう。

○場所・資金面の問題等

- ・活動のための決まった場所がないこと。公民館を借りているが、段差が多いなど、子どもにとって安全な造りではない。
- ・移動手段がなく、困ることがある。くるりんバスは時間がまちまちで、使いにくい。
- ・集会所の利用料がかかり、助成金がないと結構な負担になる。活動資金が少なく、大変。

■その他(自由記述)

- ・毎回参加ができない人もぜひメンバー登録して、興味のある企画だけでも参加してほしい。
- ・子どもが同年齢の子、少し年齢が上の子どもと遊んだり、他のママと話したりすることによって、少し先の子育ての話も聞くことができ、子育てに自信が持てるようになると思うので、ぜひ気軽に参加してほしい。
- ・住んでいる地域に関係なく参加してもらえるように、声掛けをしたい。
- ・月1回の開催では活動の幅に限界があるが、月2回は代表者にとって負担が大きく、難しい。
- ・新しくできた精華台5丁目に引っ越したが、育児サークルがない。4丁目が近いので、合同でできたらと思う。
- ・(精華台4丁目側)参加人数が少ないので、精華台5丁目の人を誘いたい。
- ・育児サークルは、入ってみると準備など大変なこともあるが、楽しいこともあるので、少しずつでも参加人数を増やしていきたい。
- ・近くのサークル同士が連携をとって、合同で活動できたらと思う。